

留学体験レポート

国際学部 2年 山本美咲

1 はじめに

私は、今回のアメリカ留学で印象に残っている出来事について、いくつか紹介したいと思います。

2 アメリカで出来た友達

私の **Conversation Partner** だった **Maria** と仲良くなりました。毎週木曜日一緒に夕飯を食べて、その後 **Maria** のお部屋にお邪魔して、おしゃべりをしたり、一緒に学校のイベントに参加したりしました。**Maria** は日本がとても好きだったので、一緒に味噌汁を飲んだり、日本語や、**J-POP** を教えたりしました。また、**Maria** は私に英語の正しい発音や、英語の勉強のアドバイスをしてくれました。私は日本に帰る日、夜中に寮を出発しましたが、出発する直前、わざわざ **Maria** が来てくれて、手紙を渡してくれました。**Maria** と一緒に遊ぶことで仲良くなったことはもちろん、私の英語力も向上しました。日本に帰国した今でも連絡を取り合っています。留学の最終日に受けた **TOEIC** の点数が、前回と比べて大幅に上がったと分かった時、すぐに **Maria** に連絡しました。一緒に喜んでくれて嬉しかったです。

他にも、よく教会の日曜礼拝に連れて行ってくれたり、学校のイベントに誘ってくれた **Katie**、よく車でいろんなところに連れて行ってくれた **Mohsin**、私の **Activity Buddy** で、一緒にご飯を食べたり、今でもよく連絡をしたりしてくれる **Mikayla** などたくさんの友達が出来ました。彼らには本当に感謝しています。

3 大学の授業

アメリカの授業は、受け身型が多い日本の授業とは違い、ディスカッションやプレゼンなど、自分の意見を言う機会が多くて、発言がとても苦手な私はとても戸惑いました。他の国の留学生は、積極的に発言するのはもちろんのこと、他の人の意見に流されずに自分の意見を主張していたことにとっても驚きました。また、プレゼンの時は誰も台本を持たず、聞いている人としっかりアイコンタクトを取りながら、すらすら英語を話していました。最初、発言が苦手なのと、英語が上手く話せないのもあって、ディスカッションの時に何も言えなかったり、リスニングが苦手で、先生の英語が聞き取れなくて、授業で何をしているのか分からなかったりということがよくありました。自分が授業についていけるようになるのか本当に心配でした。どのようにしたら、これらのことを克服できるか自分なりに考え、実践しました。そして、この留学が終わるころには、ちゃんと授業についていけるようになっていました。自分の英語力が上がっているのが実感できて嬉しかったです。

4 おわりに

私の今回の留学には3つの目標がありました。それは、とっても苦手なリスニングを克服すること、外国の友達を作ること、日常会話ができるほどの英語が話せるようになることでした。どれも達成出来たと思います。また、たくさん良い経験ができました。留学に行ってよかったと本当に思いました。困っている時に助けてくださって、アドバイスをくださった UCM の先生方や、友達にはとても感謝しています。これから留学に行こうと考えているみなさん、楽しいことばかりでなく、辛いこともたくさんありますが、一生の思い出になると思います。ぜひ頑張ってください！